

令和6年5月22日送付資料一覧

内容についてのご質問等は、担当部署までお願いします。

・「住まいのリフォームに関する建築士による建築相談」

(担当部署：審査指導室 電話番号：072-724-6866)

【一部自治会のみ配布】

・「路線バス（阪急バス）一部路線での社会実験実施のお知らせ」

(担当部署：交通政策室 電話番号：072-724-6746)

住まいのリフォームに関する 建築士による建築相談



信頼できる業者の選び方は？

リフォームの見積が適正か知りたい

屋根・外壁塗装を行うときの注意点は？

水回りリフォームの注意点は？

建て替えとリフォームの判断基準は？

地震がきたとき、家は大丈夫かな？



安全・安心・快適生活に向けて

木造・マンションのリフォーム、中古住宅購入、空き家など
住宅に関する事について、経験豊富な建築士のアドバイスを受けることができる
無料相談会を開催します。お住まいに関する困りごとや、
ご心配などがございましたら、ぜひお気軽にお申し込みください。

※本相談会は予約制で、相談時間は1組約30分を想定しています。
※相隣関係など、民事に関する事は対象外です。

日時

2024.

6 / 21



13:00

16:00

会場

箕面市役所 別館6階

申込
方法

お電話またはファックス・メールで
下記までお申し込みください。

お問い合わせ
お申し込み先



箕面市役所みどりまちづくり部審査指導室

TEL:072-723-2121 FAX:072-722-2466

MAIL:sidou@maple.city.minoh.lg.jp

箕面市の耐震補助制度

地震等の自然災害に備えて!!

昭和56年5月以前に建てられた木造住宅が補助対象です。

TOPICS 1

一般的な木造戸建て住宅の場合、耐震診断が**無料**で受けられます。

TOPICS 2

耐震設計に要する費用の一部が、**最大10万円補助**されます。
(設計費の70%かつ上限10万円)

TOPICS 3

耐震改修工事の補助も行っており、**最大40万円**の補助金が受けられます。
世帯所得に応じて60万円まで

★一定基準の改修工事をする、上記補助金の他に、税金の減額も受けられます。

昭和56年6月以降に建てられた木造住宅について

阪神淡路大震災・熊本地震では、昭和56年以降の比較的新しい木造住宅の一部においても倒壊等が発生しています。そのため、特に建築基準法の構造規定が改正された平成12年5月以前の木造住宅についても、しっかりとメンテナンスを実施し、性能を維持していくことが大切です。
昭和56年6月～平成12年5月に建てられた木造住宅は耐震診断の補助対象外ですが、建築士が耐震診断を3千円で行っています。

高齢者向け返済特例制度

当日、専門家がお答えします!

高齢者向け返済特例制度は**毎月利息だけを返済!**

国の政策や支援の下作られた新しい制度です。快適な老後のために自宅をリフォームしたい。でも資金が…。そんな悩みを解決してくれるのは、自分で築いた資産を活用する、住宅金融支援機構の高齢者リフォームローンです!

対象: 耐震改修工事又はバリアフリー工事を含むリフォーム工事を行う60歳以上で持ち家の方

- 住宅金融支援機構が最高1,500万円までご融資
- 元金はお亡くなりになったときの一括返済
- ご存命中の毎月のご返済は利息のみ
- 一般財団法人高齢者住宅財団が連帯保証

例 融資額**300万**の場合、月々の支払いは**2,675円**($300万円 \times 1.07\% \div 12ヶ月 = 2,675円$)

※ 令和6年(2024)年4月に申し込まれた方の金利で試算

お申込み方法

- ◎ FAXでお申込みの方は申込書にご記入のうえ、FAX072-722-2466へ送信下さい。
- ◎ お電話、メールでも受け付けています。

■ 建築相談 申込書

フリガナ				
氏名		ご参加人数		電話番号
		様		人
住所	〒			

事務連絡
令和6年(2024年)5月22日

自治会員 各位
マンション管理組合員 各位

地域創造部長

路線バス（阪急バス）一部路線での社会実験実施のお知らせ

謹啓 新緑の候 貴台におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素は本市行政各般にわたり、ご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和6年(2024年)3月23日の北大阪急行延伸線開業にあわせて、市内の路線バス（阪急バス）の再編を実施しておりますが、再編後のニーズが不透明だった5路線は社会実験路線と位置付け、今後の利用状況に応じて減便や廃止を検討していくこととなります。1次評価として、6月末時点の達成率が60%未満の路線は廃止を、80%未満の路線は減便を含めてそのあり方を検討していきます。対象路線の評価基準（維持・存続に必要な利用者数）及び利用状況の速報値と達成率は下記表をご参照ください。

みなさまの手で公共交通を「守り・育てていく」ことにご協力をお願いいたします。

謹言

記

1. 対象路線の評価基準及び利用状況の速報値と達成率 ※3月23日～4月30日時点

路線名	評価基準	速報値	達成率
85系統 如意谷線	約9人/便以上	8.7人/便	約96%
36系統 箕面山麓線	約32人/便以上	28.0人/便	約87%
81系統 箕面中央線 (新稲系統)	約30人/便以上	17.1人/便	約57%
181系統 箕面小野原線	約39人/便以上	19.0人/便	約48%
177系統 小野原東線 (箕面船場阪大前経由)	約22人/便以上	13.8人/便	約62%

2. その他

市のホームページでも速報値を掲載しております。バス路線を維持していくためには、みなさまにバスをご利用いただくことが何より重要ですので、ご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

詳細は市のホームページをご覧ください。



【お問い合わせ先】

箕面市 地域創造部 交通政策室
担当：小東、吉田、稲田
電話：072-724-6746(直通)